



たての としこ  
館野 敏子さん(関本上)

自分のためだけではなく、大切な家族を守るため、健診を受けましょう。

**茨城県総合健診協会とは**  
 (公財)茨城県総合健診協会(金子道夫会長)は、昭和56年4月1日に設立された団体です。水戸市に本部を構え、県南センター(土浦市)と県西センター(筑西市)を開設しています。

私たちの健診を支えてくれている県西センターには、看護師、放射線技師、臨床検査技師、事務の約100人の職員がいます。最先端の装置が備わった健診車で市内各地区の住民健診、事業所健診及び学校健診を行います。筑西市を含む11市町を広範囲に巡回しています。

「見た目だけではわかりません。自分はもちろん、大切な家族を守りましょう。」

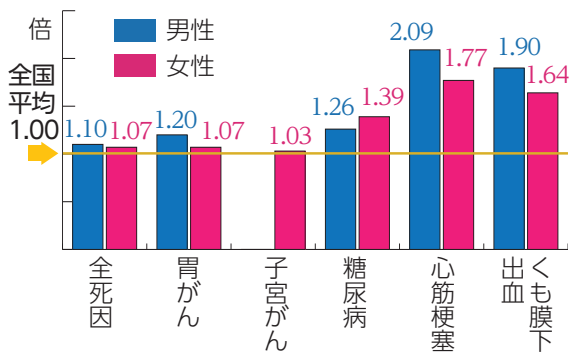
## 年に一度の健康チェック

### 健診後の精密検査が重要

「健診を受けた後の行動がとても大切。『要治療』、『要精密検査』の判定が出たのに放置しておいては、健診を受けたことが無駄になってしまいます。進行性の病気だとしたら、あつという間に進むことがあります。自分は大丈夫と後回しにして手遅れになり、後悔しないためにも必ず病院で検査をしてほしい」と力強く話してくれたのは事業推進課の森田新一さん。

### 全国平均を1とした市の死亡比率

平成30年茨城県市町村別健康指標 2011～2015



**実体験から感じる必要性**  
 私の夫は昨年大腸がん検診で「要精密検査」の判定で、検査の結果はステージⅡ、進行性のがんでした。告知からひと月後、腹腔鏡手術を受けました。身体に負担が少なく済み、今は抗がん剤治療を行っています。多少の副作用はありますが、普段と変わらない生活を送れるのも、早期発見、早期治療のおかげです。

今年度の集団健診は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止又は日程の変更があるそうです。

健診会場の混雑緩和やウイルス感染症の予防を考えると、これからは完全予約制にしていく必要があると感じました。

**問**  
 集団健診については、健康増進課(本庁2階) 22・05060



健診車に描かれている「ハートの聴診器」は、受診者と協会をつなげるアイコンとなっています。ハートで優しさが添えられ、心と身体が軽くなるような安心感があります。



けんこうリンク

### 大腸がん検査

(出典) (公財)茨城県総合健診協会 平成29年度 事業報告

